

令和3年度から使用する中学校用教科用図書答申書

教科名 音楽 (一般)

番号 観点	発行者略称	教科書番号
取扱内容 〔学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等〕	○目標を達成するための学習活動の取り扱い ・歌唱については、斉唱から混声合唱へ系統性や発展性を踏まえた学習が展開できるように教材を精選している。また我が国の伝統的な歌唱については民謡を扱い、伝統的な声の特徴を感じ取りながら歌うことができるという特色がある。 ・創作については、全学年の「音のスケッチ」で、旋律をつくることと音楽を構成することの2つの指導事項による学習に対応するとともに、楽しく分かりやすく学習活動が行えるようになっている。 ・鑑賞については、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽について音楽の特徴を聴き取り、その多様性を理解することができるようになっている。 ・共通事項については、「学びのユニット」などに実際の学習活動での取り扱いがわかりやすく示されているなど特色がある。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に質する学習への対応については、学習課題を設定し、見通しをもたせるなど、考えを広げたり、深めたりする活動を取り入れている。	
内容の構成・排列・分量等	○内容の構成・排列について ・全学年を通して我が国や郷土の伝統音楽を基盤にして、音や音楽と生活や社会の関わり、それらによる音楽の特徴や多様性を取り扱う構成となっている。 ・歌唱・器楽・創作・鑑賞の各教材は「曲想と音楽の構造との関わり」が意識され、3年間の系統性を意識した構成となっている。 ○内容の分量について ・第1学年～歌唱教材ページ数44、創作教材ページ数6、鑑賞教材ページ数26 総ページ数84、前回と同様となっている。 ・第2・3学年～歌唱教材ページ数70、創作教材ページ数8、鑑賞教材ページ数60 総ページ数168、前回と同様となっている（上下合計）	
使用上の配慮等	○ウェブサイト「まなびリンク」が準備されており、「見る、聴く、記録する」で構成され、アクティブ紙面と教材の準備が難しいと考えられる紙面で使用できるように手厚く配慮されている。 ○教材の配列を工夫した「学びのユニット」を例示しており、教師にも生徒にもわかりやすい配慮がされている。 ○民謡の指導の部分で、より詳しい内容について触れている。	
その他		

令和3年度から使用する中学校用教科用図書 の 答申書

教科名 音楽 (一般)

番号 観点	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 ・ 各 学 年 の 目 標 ・ 内 容 等 〕	教芸 (教育芸術社)	702、803・804
内 容 の 構 成 ・ 排 列 ・ 分 量 等	○内容の構成・排列について ・小学校の学習内容との系統性がしっかり確保されており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫れるような特徴がある。 ・生徒の心情に即した教材が用意されており、興味・関心をもって学習を進めることができるよう配慮されている。 ・各学校や生徒の実態に応じて柔軟な指導計画を作成できるようになっている。 ○内容の分量について ・第1学年～歌唱教材ページ数53、創作教材ページ数7、鑑賞教材ページ数24 総ページ数99、前回より約24%増となっている。 ・第2・3学年～歌唱教材ページ数97、創作教材ページ10、鑑賞教材ページ72 総ページ数198、前回よりも24%増となっている。(上下合計)	
使 用 上 の 配 慮 等	○今を活躍する専門家からのメッセージにより自分の考えをより広げたり深めたりすることができるようになっている。 ○ゲームの要素を取り入れた部分があり、生徒の興味・関心を高めながら音楽活動につなげることができるよう配慮されている。 ○巻末に行事等でも取り上げることができる合唱曲が豊富に掲載されている。 ○イラストや写真などについては、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるよう生徒の感性に即して学習できるようになっている。	
そ の 他		